



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 781 人

医 師 163 人

コメディカル 618 人

【管理栄養士紹介登録数 40人】

平成20年12月20日現在

《目 次》

新年号年頭ごあいさつ	植木 彬夫先生	Page 1
研究会等の実施報告		Page 2、3
研究会他のお知らせ		Page 4
事務局からのお知らせ		Page 4



2009年会報 新年号 年頭ごあいさつ

当会副理事長 東京医科大学八王子医療センター 植木 彬夫

新年おめでとうございます。新たな年を迎え、今年も糖尿病療養指導のエキスパートを目指し皆様の活躍が期待できると信じています。

糖尿病は医療連携の疾患であるとされ、多くの地域において糖尿病のための医療連携が模索されてきています。当会では昭和61年にはすでに地域における医療連携（当時は病診連携）を目指し、当会の監事である小平市近藤医院の近藤甲斐夫先生や府中市伊藤内科小児科クリニックの伊藤眞一先生が、それぞれ地域で活動を始めていました。当時から地域でのスキルアップを目指し各種研修会を開催し、また病診連携用糖尿病手帳の制作とその普及、糖尿病教育ビデオの制作など、現在求められている糖尿病治療の標準化と医療連携パスの原型をすでに目指し実践していました。その後も会は発展を続け、平成11年には西東京療養指導士の育成に着手し、その継続性と組織の運営のために平成14年にはNPO法人化されました。

当会の特徴は、多くの世話人の施設が独自に地域医療連携を形成しており、地域密着型の強固な医療連携を形成していたり、地域コメディカルとの交流の場となる研究会を開催していることにあります。これらは当会の間接事業としてホームページにも掲載されています。この基本型の医療連携がさらに糖尿病のより良い療養方法を求めて、あるいは新たな試みを行うために互いに連携し、互いに補完しあってより強固な活動がおこなわれています。これが会の直接事業になります。西東京糖尿病療養指導士認定もそのひとつです。西東京地区の糖尿病療養に携わる多くの人や施設のネットワークは職種を越え、施設を越え、西東京における糖尿病療養に携わるすべて人たちの糖尿病療養に掛ける思いを一つにしています。日本中より注目されている、会員皆様の活躍は明日の糖尿病療養の一つのモデルとして、日本の糖尿病療養のための牽引車として評価されてきています。

今年が益々活躍と飛躍のできる年になることお祈りいたします。





研修会等の実施報告

第4回 西東京心理と医療研究会ワークショップ

平成20年11月21日(土) 22(日)「多摩永山情報教育センター」において開催されました。

当会会員 南平眼科内科副院長/ライフ・プランニングクリニック 所長
朝比奈 崇介

去る11月21日土曜の夕方から22日正午にかけて1泊で第4回西東京糖尿病心理と医療研究会を開催しました。

1日目は医師が自分の診ている患者さんを実際に連れてきて参加者の目の前で行うオープン外来で幕が開けます。今年は宮川先生がもう20年も診ていらっしゃる患者さんをお連れになって1時間半の外来をされていました。

2つ目は「ザ・症例検討会」です。この症例検討会はコメディカルの方に自分の目を通して自分が困った症例を語っていただきます。今回は救命救急センターの後藤さんが語り手でした。

翌日はワークショップです。今年は「自分が困難と感じた症例とはどんな症例でしょう？」というコメディカルや医師の目を通して感じた「困難」の共通項をKJ法※で抽出いたしました。



この会の一つの特徴は1日目のセッションが終わったあと、フリートークの時間をたくさんとって皆で自由にお互いの情報交換をしています。

お酒も供され、今回も20名くらいが一つ部屋に集まって2時半頃まで楽しく語り明かしていました。

毎回DITNに案内を載せていますが本当に楽しい会です。皆様も興味がおありでしたらまた次回の会にご参加ください。

※KJ法とは、文化人類学者川喜田二郎（東京工業大学名誉教授）がデータをまとめるために考案した手法である。データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し、論文等にまとめてゆく。KJとは、考案者のイニシャルに因んでいる。共同での作業にもよく用いられ、「創造性開発」（または創造的問題解決）に効果があるとされる。

第14回 糖尿病食を作って食べて学ぶ会

平成20年10月28日(火)「立川女性総合センターアイム」において開催されました。
平成20年11月7日(金)「ルミエール府中」において開催されました。

第14回「糖尿病食を作って食べて学ぶ会」が平成20年10月28日(火)立川と11月7日(金)府中にてそれぞれ開催されました。今回のテーマは「これなら安心、家族と一緒に肉料理!」と題し、前回のアンケートでリクエストのあった「揚げないとんかつ」の作り方を紹介、肉の部位の選び方や調理の工夫でエネルギーが変えられることがレクチャーされました。また、調理に使う塩の量を1cc計量スプーンで量り、塩分の使用量について認識していただきました。

立川会場は21名、府中会場は16名の参加者がグループに分かれて当会会員の管理栄養士の指導の下、和気藹々と調理実習を行いました。

☆メニュー☆

☆発芽玄米入りご飯

☆揚げないとんかつ

☆きのこ汁

☆ほうれん草と黄菊の和え物

☆さつまいもとブルーの煮物



◎参加者のご感想（実施後アンケートより抜粋）

- ・ワンパターンの食事になりがちだったので参加できてよかった。
- ・思ったよりもボリュームがあった。これなら続けられるかなと思った。
- ・油の量を減らしても美味しく食べられるのだと思った。
- ・自分は薄味だと思っていたが、まだまだ濃いのだと分かった。



研究会他のお知らせ

◆直接事業 ◆間接事業

◆ 第7回 症例検討会（※お申し込みが必要です。）

テーマ：「療養指導を受けないまま10年過ごした糖尿病腎症の患者66才男性」

開催日：平成21年1月23日(金) 19:00～21:05

場 所：立川女性総合センターアイム5階（JR立川駅北口より徒歩5分）

参加費：500円

定 員：32名（先着順）※まだ若干名募集しております。お早めにお申し込みください。

申込み：当会ホームページより申込書をダウンロードのうえFAXにてお申込ください。

宛 先：西東京臨床糖尿病研究会事務局

FAX番号：042-322-7478

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位



研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業

◆ 第97回実践栄養指導勉強会（お申し込みは不要です。）

テーマ：臨床研究の進め方 ～学会発表をしよう！抄録の作り方～

開催日：平成21年1月20日（火） 18:45～20:15

場所：緑風荘病院併設グリーンボイス1F デイルーム
（東村山市萩山町3-31-1 西武拝島線八坂駅徒歩）

参加費：会員 無料 非会員500円

◆ 第21回 東糖協多摩ブロック糖尿病教室（お申し込みは不要です。）

テーマ：「糖尿病患者さんの心配にお答えします」

講演1「検査データが心配な方へ」

講演2「脳梗塞・認知症が心配な方へ」

開催日：平成21年2月7日（土）14:00～16:00

場所：福生市民会館小ホール（つつじホール）（JR青梅線牛浜駅東口より徒歩5分）

参加費：無料（どなたでもご参加いただけます。）

問合せ：（社）日本糖尿病協会東京支部（東京都糖尿病協会事務局）

☎03-3373-0768

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

◆ 第24回 糖尿病連絡会（お申し込みは不要です。）

講演1「統合失調症合併 2型糖尿病の1症例」

講演2「糖尿病とうつ」

開催日：平成20年1月22日（木） 19:30～21:00

場所：公立昭和病院 2階講堂

（小平市天神町2-450 西武新宿線花小金井駅下車バス5分）

参加費：500円

★日本医師会生涯教育講座（5単位）認定予定



事務局からのお知らせ

◎事務局年末年始休業のお知らせ

平成20年12月27日（土）～平成21年1月4日（日）まで休業させていただきます。

旧年中会員の皆様には大変お世話になりました。

本年もよろしくお願い申し上げます。

◎認定試験受験料納付について

平成21年2月15日（日）東京農工大小金井キャンパスで実施します。養成講座を受講され、受験資格のある方には、すでに事務局より試験のお知らせが送付されています。

受験料納付の締め切りは1月15日（木）です。お近くのコンビニ（24時間）で納付が出来ますのでお早めに納付をお願いします。期間を過ぎて納付をされた場合、事務局では確認に数日間の日数が必要となり確認が困難なため受験が出来ないことがありますのでご注意ください。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリント7 402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

